

グループホームみなとや 2025年度地域連携推進会議

2025年6月25日
14:00～16:00

社会福祉法人つくりっこの家
グループホームみなとや



本日の内容

- ▶ ごあいさつ
- ▶ 自己紹介
- ▶ 施設概要ならびに利用者について (14:10～14:40)
- ▶ 権利擁護について (14:40～15:00)
- ▶ 地域との連携について (15:00～15:20)
- ▶ 施設内ご案内 (15:20～15:30)
- ▶ 質疑応答・ご感想 (15:30～15:50)
- ▶ 閉会

社会福祉法人つくりっこの家 理念

「障害」のある、なしや、年齢を超えて、人と人が出会い、それぞれの持ち味を生かして、ともに生き、ともに働く（非分類協働）ことで支え合う関係を作り出す。
「わけるとふえる」ことの豊かさを地域に自然な形で広げていく。

この理念を、住まいの場でも実現したいと思い「グループホームみなとや」をつくりました。

16:00終了予定です



施設概要

▶ グループホームみなとや（共同生活援助）

定員 4名

居室および設備

メンバー居室4室（約8畳フローリング、トイレ、ミニキッチン）

交流室1室（スタッフ事務室 キッチン、トイレ、洗面室、浴室）

その他設備（コレクティブハウス併設備）

24時間風呂、ランドリールーム、共有スペース（リビング、キッチン）

トイレ、屋上テラス、倉庫、駐輪スペース



障害者グループホームとは？

障害のある方の特性や環境に応じて、必要な支援やサポートを受けながら、共同生活を行うことができる住まいのことです。
法律（障害者総合支援法）で定められている障害者福祉サービスのひとつです。

私たちのグループホームは「コレクティブハウス大泉学園」（別途資料）の中に併設されています。



2

施設概要～入居者・支援体制～

▶ メンバーの在席年数と年齢分布

在籍年数	（単位：人）		
	男性	女性	計
3年以内	1	0	1
4～7年以上	2	1	3
計	3	1	4

年齢分布	（単位：人）		
	男性	女性	計
30代	0	0	0
40代	2	0	2
50代	1	1	2
計	3	1	4

▶ 職員支援体制

管理者 1名 / サービス管理責任者 1名

世話人 5名（パートタイム職員含む）

▶ 主な支援内容

- ・相談支援、関係機関との調整、メンバー間の関係調整
- ・健康状態の見守り
- ・生活面での支援（掃除、洗濯、食事管理、金銭管理）
- ・防災訓練

支援提供時間 朝 7：30～9：30 夕 16：30～18：30

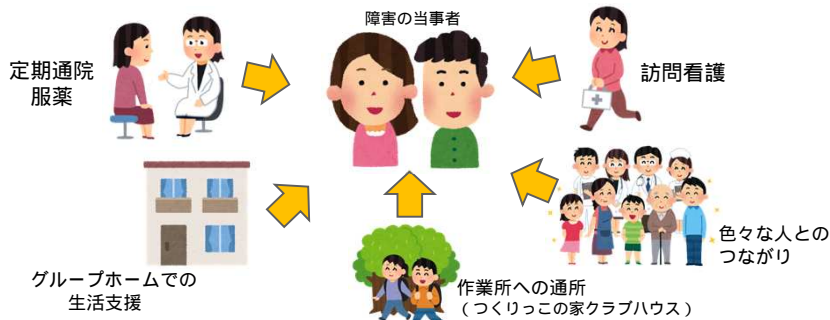
3

みなとやのメンバー ～精神障害とその特性～

▶ 精神障害とは

何らかの脳の器質的変化あるいは機能的障害が起こり、さまざまな精神症状、身体症状、行動の変化が見られる状態です。

主な精神疾患：統合失調症、気分障害、不安障害、発達障害など



医療の力に加え、生活面での支援や、人とのつながりを経験することで、少しずつ回復し、多くの人が地域の中で暮らしていけるようになってきています。

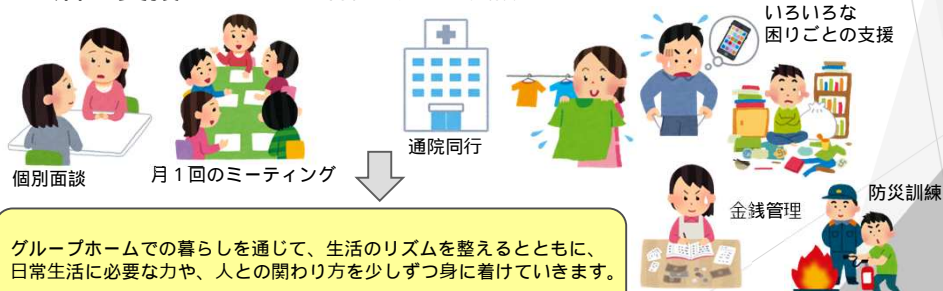
4

みなとやのメンバー ～グループホームでの生活～

▶ 食事 各自で用意しています



▶ 生活の支援 メンバーの特性に応じた支援をしています



グループホームでの暮らしを通じて、生活のリズムを整えるとともに、日常生活に必要な力や、人との関わり方を少しずつ身に付けていきます。

5

みなとやのメンバー～コレクティブハウス居住者の一員として～

▶ 色々な役割 コレクティブハウスの一員としての役割も担っています。



主な年間行事

- 1月 新年会
- 7月 花火を見る会
- 10月 お月見会
- 11月 防災体験
- 12月 クリスマス会

コレクティブハウスの中に、グループホームがあることの良さは？

(メンバーアンケートより)

- ・障害者だけのグループホームとは違い、一般の居住者と一緒にいるところが良い。
- ・役割があることで、いろいろな経験が出来る。
- ・他の居住者に見守られている安心感がある。居住者との関係も楽しんでいる。

6

権利擁護について～障害福祉サービス第三者評価～

▶ 障害福祉サービス第三者評価(2024年度受審)

< 特によいと思う点 >

- ・受容と共感、ねぎらいのある共同生活の中で、社会性や自立する力を身につける支援の実施。
- ・障害のある人となない人が、コレクティブハウスを通じて、お互いの持ち味を生かして支え合っている点。
- ・メンバー個々の支援の全体像を職員全員で共有・周知して、個々の状況に見合った的確な支援の実施。

< さらなる改善が望まれる点 >

- ・広く情報を発信していくことが期待されます。
- ・障害特性が多様化する中で、現状に即したマニュアルの見直しが期待されます。
- ・多くの地域住民と交流出来る取り組みを期待します。

7

権利擁護について～メンバーアンケート、ヒヤリハット～

▶ メンバーアンケート（2025年1月調査）

「みなとやと作業所の職員が（兼務）していることについて」

- ・すべて知っていてもらえることが安心。
- ・みなとやの職員とは、（作業所で）一緒に仕事する場面がないので気にならない。
- ・生活の場（みなとや）と仕事の場（作業所）は切り替えたいと思うが、職員が兼務でもあまり気にはならない。

▶ 支援者の様子・課題

- ・高齢化（メンバー、支援者ともに）
- ・B型との併用
- ・利用できるメンバーの限界

▶ 虐待・事故・ヒヤリハットについて

- ・虐待防止委員会（月1回）虐待防止研修（年1回）

8

地域との連携

▶ 地域で暮らす一員として



グループホームとして、
地域の中でどんなことが出来る
だろうか。

皆さんのお知恵をいただきたい
と思っています。

9